

【第3期秋田県がん対策推進計画の個別目標】

			個別目標の項目数		指標数	
分野	項目	指標	総数	分野ごと	総数	項目ごと
Ⅰ　がん予防	1　がんの1次予防	喫煙者の割合（成人）	1	1	(実)135 (延)138	41
		たばこを習慣的に吸っている者の割合	2	2		
		官公庁（県・市町村）における敷地内禁煙を実施	3	3		
		日常生活で受動喫煙の機会を有する者の割合	4	4		
		たばこを吸うと肺がんにかかりやすくなることを知っている者の割合	5	5		
		ニコチン依存症管理料算定件数（診療報酬ごと）	6	6		
		多量飲酒（清酒に換算して3合以上）者の割合	7	7		
		食塩の摂取量	8	8		
		野菜の摂取量	9	9		
		週2回以上運動する者の割合	10	10		
		一人一日当たりの歩数	11	11		
		公費肝炎検査実施数	12	12		
		保健所検査・委託医療機関検査・市町村検診の陽性判定者のうち「初回精密検査」助成制度利用割合	13	13		
	2　がんの早期発見、がん検診（2次予防）	市町村が実施するがん検診の受診率（子宮がんは20～69歳、その他のがんは40～69歳）※（）書は、年齢上限を設けない場合の受診率	14	14		27
		精密検査受診率	15	15		
		秋田県健康づくり審議会各がん部会が定める精度管理評価基準（※集団検診における技術・体制的指標）を満たしている市町村数	16	16		
		職域等において実施するがん検診の受診率	17	17		
		年齢調整罹患率	18	18		
		罹患患者数	19	19		
		早期診断割合（限局＋上皮内がん）	20	20		
Ⅱ　がん医療の充実	1　がん医療体制及び各種治療の充実 2　チーム医療の推進	がんの75歳未満年齢調整死亡率	21	1		40
		がんリハビリテーションの実施件数（人口10万人当たり）	22	2		
		がん診療連携拠点病院数	23	3		
		地域がん診療病院数	24	4		
		がん診療連携推進病院数	25	5		
		がんリハビリテーション実施医療機関数	26	6		
		放射線治療を行う拠点病院等に、放射線療法に携わる専門的医療従事者（放射線治療専門医、放射線治療品質管理士、放射線治療専門放射線技師など）を配置	27	7		
		拠点病院等に、薬物療法に携わる専門的医療従事者（がん薬物療法専門医、がん薬物療法認定薬剤師など）を配置	28	8		
		受けた医療の評価	29	9		
		進行度別5年相対生存率	30	10		
		主治療カバー率（上皮内がんを除く）	31	11		
	5　小児がん・AYA世代のがん、高齢者のがん対策	主治療カバー率（上皮内がんを除く）	32	12		2
	6　がん登録とモニタリング体制の充実	地域がん登録（平成31年1月からは全国がん登録も含む）データの活用申請数（累計）	33	13		1
Ⅲ　がんとの共生	1　がんと診断されたときからの緩和ケアの実施	緩和ケア研修会修了者数（医師）	34	1		7
		がん患者指導の実施件数（人口10万人当たり）	35	2		
		がん性疼痛緩和の実施件数（人口10万人当たり）	36	3		
		緩和ケア病棟を有する医療機関数	37	4		
		緩和ケアチームのある医療機関数	38	5		
		からだの苦痛ありの患者の割合	39	6		
		気持ちがつらい患者の割合	40	7		
	2　相談支援・情報提供	がんサロンを定期的開催（拠点病院等）	41	8		5
		がんサロンを定期的開催（がん患者団体）	42	9		
		ピアサポーター（がん患者・経験者）の協力を得て、相談を実施しているがん相談支援センターの数	43	10		
		「がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減された」と回答した患者の割合	44	11		
		「がん相談支援センター（又はがんの相談窓口）を利用したことがある」と回答した患者の割合	45	12		
	4　がん患者等の就労を含めた社会的な問題	拠点病院等の相談支援センターで、がん患者の就労を含めた社会的な問題に関する相談に対応	46	13		3
		「がんと診断されたことを理由に、生活の不安を感じた」と回答した患者の割合	47	14		
		「がんと診断されてから、周囲の対応が原因で傷ついたことがある」と回答した患者の割合	48	15		
Ⅳ　基盤の整備	1　がん研究	講演会などで、コホート研究の研究成果等を県民に周知	49	1		1
	2　人材育成	がん薬物療法認定薬剤師数	50	2		4
		がん専門薬剤師数	51	3		
		がん分野の認定看護師数	52	4		
		がん分野の専門看護師数	53	5		
		学校での「がん教育」を実施	54	6		4
	3　がん教育、がんに関する知識の普及啓発	生徒における、がんの理解及び予防につながる知識の割合	55	7		
		日本人の2人に1人はがんになることを知っている県民の割合	56	8		
		早期発見のために「がん検診を定期的に受けることが良いと思う」と回答した県民の割合	57	9		
		（再掲）たばこを吸うと肺がんにかかりやすくなることを知っている者の割合	(5の再掲)		138	3